

市長マニフェスト 主な取組状況 (令和6年10月現在)

マニフェスト	ページ
I 新型コロナから市民のいのち、暮らし、しごとを守る。	
1. 徹底した感染防止対策と、経済対策とを両立させる。	1
II 鹿児島に稼げる仕事をつくる。	
2. コロナ後に対応できる、新しい産業・仕事をつくる。	3
3. 世界から観光客を集める・国際都市KAGOSHIMAをつくる。	5
4. ICTを活用しもっと住みよい鹿児島をつくる。	8
III 全ての人に、希望とチャンス。安心して生活できる鹿児島をつくる。	
5. 安心できる子育て環境をつくる。	11
6. 稼げる力。「たくましい鹿児島の子」をつくる。	14
7. 人生100年時代。「持続可能な」生きがいにあふれる福祉。	16
IV 人口減少時代に生き残る鹿児島をつくる。	
8. 「持続可能」なまちづくり。「持続可能」なくみづくり。	18
9. 現在そして将来の課題に今から対応できる鹿児島をつくる。	20
10. 新しい時代。民間のチカラを活かし、「これから」の鹿児島市政をつくる。	22

I 新型コロナから市民のいのち、くらし、しごとを守る。

1 徹底した感染防止対策と、経済対策とを両立させる。

No1 新型コロナから市民のいのちを守ります。

No 1

■新型コロナウイルスワクチン接種の実施

延べ接種件数（1～7回目）：2,036,169回

■受診相談センターの設置・運営(2～5年度)

相談件数：103,656件

■疫学調査・接触者への検査の実施(2～5年度)

行政検査実施件数：124,335件

■食料支援等による自宅療養者の生活支援(3～5年度)

食料支援：25,471件

パルスオキシメーターの貸出：9,311件

■子育て施設や保育所等への感染症対策の実施

■離職者等へ住居確保給付金を支給

■スクール・サポート・スタッフ（学校教室の消毒など）の配置(4年度)

■生活困窮者等への支援

- ・生活困窮者自立支援金 1,601世帯(3～4年度)
- ・非課税世帯等に対する臨時特別給付金 89,848世帯(3～4年度)

■子育て世帯への特別給付金の支給

- ・応援特別給付金 103,659人(4～5年度)
- ・生活支援特別給付金 34,385人(3～5年度)
- ・臨時特別給付金 96,003人(3～4年度)

■女性のつながりサポート

- ・居場所づくり 市内各地域・月6回程度(4年度～)
- ・生理用品の配布 25か所(4年度～)
- ・支援員の養成(5年度～)

■分娩前のPCR検査費用の助成など妊産婦に寄り添った支援(4～5年度)

■市立病院の再整備の推進

- ・再整備計画（感染症病棟の独立化など）の策定(3年度)
- ・基本設計、実施設計(4～5年度)
- ・工事着手(6年度)



No2 新型コロナから医療・介護・障害福祉従事者等を守ります。

No3 新型コロナから地域経済を守ります。

No4 コロナ後の地域経済ビジョンを策定します。

No5 市長給与を50%カットします。

No 2

■医療従事者等への新型コロナワクチンの優先接種の実施

■児童クラブ職員・保育士等の処遇改善への補助(3年度～)

- ・新型コロナへの対応を最前線で行う保育士等や児童クラブの職員に対する処遇改善や報酬単価の引き上げ

■障害福祉サービス事業者等への衛生用品の配布(元～5年度)

■障害福祉サービス事業所等へのサービス継続支援(2～5年度)

- ・通常の介護サービス提供時は想定されない、かかり増し経費の一部を補助

■事業継続や雇用維持を下支えする支援金の給付

- ・家賃支援 6,478件(3～4年度)
- ・雇用維持支援 2,915件(3～4年度)

■ECサイト(電子商取引)の立ち上げ等への助成

3年度:50件 4年度:104件
5年度:29件 6年度:12件(8月末現在)

■プレミアム付商品券の発行などを行う商店街への助成

4年度:9団体 5年度:15団体
6年度:17団体(8月末現在)

※参加商店街・通り会数

4年度:41団体 5年度:53団体 6年度:57団体(8月末現在)

■宿泊需要回復のための“まってるし鹿児島市”宿泊キャンペーン

■民間路線バス及びタクシー事業者の運行維持への支援

4年度:路線バス446台 タクシー1,781台
5年度:路線バス418台 タクシー1,698台

■貸切バス事業者の運行維持への支援

4年度:229台 5年度:226台

■インバウンド観光の支援

- ・宿泊施設や貸切バス事業者等の衛生対策強化の支援 54件(3年度)
- ・衛生対策、コロナ収束後の観光需要回復を見据えた取組支援 42件(4年度)
- ・インバウンド誘客につながる観光メニュー造成等の支援 6件(5年度)



こんなことにも取り組みました

【No.4】ウィズコロナ・アフターコロナの中期経済ビジョンの策定(4年6月)

【No.5】市長給与の50%減額(3年4月～4年3月)

II 鹿児島に稼げる仕事をつくる。

2 コロナ後に対応できる、新しい産業・仕事をつくる。

No6 中小企業振興を推進します。

No7 中小企業振興基本条例を制定します。

No8 積極的な起業支援

No9 戦略的な企業誘致に取り組みます。

■来街者の増加や回遊性の向上などに向けた歩いて楽しめるまちづくりの推進

No 6

- ・照国表参道歩行者天国社会実験の実施(4年度)
- ・照国表参道歩行者天国の本格実施(5年度～)
- ・マイアミ通り歩いて楽しめる空間づくり社会実験の実施(5年度)



■クリエイティブ人材の誘致

- ・首都圏に加え関西圏及び福岡市でのU I Jターンイベント開催(5年度～)
- ・移住クリエイター交流会(4～6年度:各2回(予定含む))
- ・移住補助金の交付(4年度:3件、5年度:2件)



■中小企業の販路拡大支援

- ・輸出支援・海外展開の促進、海外市場調査等の支援
4年度：2件、5年度：3件、6年度：3件(8月末現在)
- ・本市商品等を取り扱う地域商社支援 6年度：2件(8月末現在)
- ・よかもんどんどんマッチング
本市食料品製造業者と首都圏等のバイヤーとのマッチング商談会の開催(6年度予定)

■中小企業振興基本条例の制定

No 7

- ・中小企業の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進等を目的とする中小企業振興基本条例を制定(4年4月施行)

■女性・学生・シニアの起業支援

No 8

- ・起業セミナーの開催
女性対象 5回(2、4～6年度(予定含む))
シニア対象 4回(2、4～6年度(予定含む))
学生対象 5回(2、4～6年度(予定含む))



■起業家による大学等への出前講座の実施

5年度：13回
6年度：7回(8月末現在)

■スタートアップ等の成長促進

- ・首都圏でのビジネスマッチングイベントへの参画(6年度予定)

■戦略的な企業誘致の推進

No 9

- ・補助内容の拡充(4年度～)
- ・プレスリリース配信サービス等を用いた積極的なPR(4年度～)
- ・県外企業の本市視察への補助(6年度)
〈立地協定件数〉27件(8月末現在)

№10 生産性を上げて、賃金を増やします。

№11 出身者は鹿児島市の宝！連携強化を進めます。

№12 スマート農業を強力に推進します。

№13 「稼げる農業」実現へ、農地の有効活用を進めます。

№14 「稼げる林業」づくりに取り組みます。

№15 「稼げる水産業」づくりに取り組みます。

№16 鳥獣被害対策を進めます。

■中小企業の生産性向上や人材育成、販路拡大等への助成 (メイドインかごしま支援)

№ 10

3年度：15件、4年度：31件、5年度：55件、6年度：23件(8月末現在)

■小規模事業者の生産性向上に向けた専門家の派遣やICTツール導入への助成

・専門家の派遣 4年度：20件、5年度：16件、6年度：4件(8月末現在)

・ICTツール導入助成 4年度：18件、5年度：7件、6年度：1件(8月末現在)

■中小企業の生産性向上に向けた先端設備等の導入への助成(4年度)

■首都圏での鹿児島ファンの拡大

№ 11

・渋谷で焼酎などの食文化の魅力発信

・首都圏で“マグマの幸”（本市特産品）の魅力発信(5年度～)

・鹿児島ファン拡大に向けた交流会の開催(4年度～)

■「鹿児島ファン拡大アンバサダー」の委嘱(6年度～)



大原 優乃さん



ねおさん



永江 優人さん



■スマート農業の推進

№ 12

・先端技術の現地実証(4年度～)

・機器等の導入支援(5年度～)

・スマート農業技術を学ぶ海外視察研修への支援(5年度～)

・都市農業センターにおける実証試験用の農業ハウスの整備(5年度)



■6次産業化の推進

№ 13

・付加価値の高い商品開発に必要な加工施設・機器の整備、研修会の実施(4年度～)

■アグリビジネスの推進

・農商工等連携促進のための研修会開催やマッチング支援(6年度)

■木育の推進

№ 14

・木材を活用した教育資材等の整備(4年度～)

・新生児へ市有林間伐材等を使用した製品の贈呈(5年度～)



■竹林整備への支援(6年度)

こんなことにも取り組みました

【No.15】輸出関連の各種商談会・セミナーへの参加、魚食普及イベントの開催

【No.16】電気柵等の導入や有害鳥獣捕獲活動への支援、ジビエ料理に関する情報発信・PR

3 世界から観光客を集める・国際都市KAGOSHIMAをつくる。

№17 クルーズ船の経済効果を高めます。

№18 市民総ぐるみで国体・全国障害者スポーツ大会を盛り上げます。

№19 障害のある人も、ない人も、安心して周遊できる「ユニバーサルツーリズム」先進県をつくります。

№20 ネットを活用した、多言語対応の観光誘客

№21 鹿児島市在住経験外国人のネットワークを構築します。

№22 インバウンド対応の人材育成

観光消費額の拡大 <2年：587億5千3百万円 → 5年：1,192億7千万円>

■かごしま国体・かごしま大会の開催 <経済波及効果> 407億円

№ 18

- ・かごしま国体：5年10月7日～17日(会期前実施競技：5年9月16日～24日)
競技数：17競技 選手監督数：34,624人
大会関係者：54,681人 観覧数：201,176人
- ・かごしま大会：5年10月28日～30日
競技数：10競技 選手監督数：12,261人
大会関係者：9,493人 観覧数：7,497人
- ・炬火リレーや関連イベントの開催



■ようこそかごまへ！かごしま国体・かごしま大会を盛り上げる取組(5年度)

- ・おもてなしや本市観光情報を伝える動画を用いたプロモーション
- ・観光PRキャラクター「西郷どん」を活用した国体・大会のPRや本市魅力の発信

■ユニバーサルツーリズムの推進

№ 19

- ・宿泊・飲食施設のバリアフリー化の補助
4年度：8件、5年度：5件
- ・旅行商品造成の促進(6年度)

■多言語対応の推進

№ 20

- ・飲食店等の多言語対応や情報発信の支援(6年度)
- ・かごしま水族館や平川動物公園等における多言語解説動画のモバイル端末での視聴サービスの提供

■魅力あるガイド付きツアーの造成・ブラッシュアップ

- ・多言語ガイド向け実践的研修、
専門家によるブラッシュアップ等
(商品化) 4年度：8ツアー、5年度：12ツアー



№ 22

■かごしま観光未来塾

- ・マーケティング・マネジメント等を担う高度な観光人材の育成(年4回実施、4年度～)

こんなことにも取り組みました

【No.17】 いづろ交差点付近への貸切バス乗降場を増設、官民一体となった観光案内等
<クルーズ船寄港実績> 2年度：1隻 → 5年度：92隻

【No.21】 帰国する留学生等をフレンドシップパートナーとして委嘱、SNSによる交流

No23 国際会議・各種大会の誘致を進めます。

No24 イスラム教徒向け「ハラール」など、各地域に合った誘客を推進します。

No25 体験型観光を進めます。

No26 伝統的工芸品振興

No27 鹿児島市を舞台としたコンテンツの制作振興

No 23

■アジア太平洋都市サミットの開催

- ・アジア太平洋地域の市長等が一堂に会する
「アジア太平洋都市サミット」を本市で初めて開催
6年8月22日～24日 9か国24都市が参加

■世界マスターズ水泳選手権の開催

- ・福岡市・熊本市との共同開催
5年8月2日～11日 観覧者数：2,248人

■MICEの誘致に向けたトップセールスの実施



■民間事業者等のフードダイバーシティ（食の多様性）の取組支援

4年度：8店舗、5年度：2店舗

No 24

■海外プロモーションの実施

- ・「北前船寄港地フォーラム」と連携したフランスでの観光PRの実施(4年度)
- ・香港・台湾・韓国市場における個人旅行者向けプロモーションの実施(5年度～)

■ナイトタイムエコノミーの推進

- ・夜間等の観光コンテンツ創出に向けた実証実験(5年9月～)
- ・夜間等における観光コンテンツの情報発信(6年度～)

■体験型観光メニューの魅力向上や販売力強化の支援

■SAKURAJIMAサイクルツーリズムの推進

- ・桜島を周回するサイクルツーリズムの実証実験(4年度)
- ・ストラスブル市との交流の一環として、
日本を縦断する自転車イベントの参加者と交流(5年10月)

■桜島フェリーを活用したクルーズ船の運航

- ・イベントクルーズ「錦江湾ナイトクルーズ」の実施
5年度：3回運航（1,519人乗船）
6年度：3回運航（1,474人乗船）

■桜島自然体験アクティビティの検討

- ・オートキャンプ場等の整備可能性について調査(4年度)
- ・自然体験型観光施設の整備に向けた基本計画を策定予定(6年度)



No 25



こんなことにも取り組みました

【No.26】伝統的工芸品をテーマとしたイベントの民間事業者との共同開催

【No.27】映像制作者への情報提供や撮影許可申請手続き等の支援

№28 観光資源となる「稼げる」スタジアム整備

№29 プロスポーツ等のホームゲームの盛り上がりをつくります。

№30 スポーツ合宿の誘致

№32 磯新駅の整備

№34 リバーサイドの整備

№31 市電延伸の検討を進めます。

№33 水上交通の整備を検討します。

№35 eSportsの振興

■多機能複合型スタジアム整備検討

№ 28

- ・「稼げる」スタジアム像の調査分析や需要予測等調査の実施(3~4年度)
- ・市民向けシンポジウム開催や機運向上イベント、学生によるワークショップ開催(3~5年度)
- ・新たな候補地の選定に向けた、県と連携した調査・研究の実施(6年度)

■鹿児島ユナイテッドFCの支援

- ・ホームゲームでのイベント等の実施
- ・企業版ふるさと納税を活用したトレーニング施設の整備支援



■鹿児島レブナイズの支援

№ 29

- ・ホームゲームでのイベント等の実施
- ・企業版ふるさと納税を活用したブースター拡大支援(市民無料招待等)



■国際大会等スポーツキャンプの受入

№ 30

- ・世界水泳選手権大会に出場するイギリス競泳チームの合宿の受入(5年度)
- ・南アフリカとの交流イベント(ラグビーW杯のパブリックビューイング等)(5年度)

■磯新駅(仙巖園駅)設置促進に向けた取組

№ 32

- ・協議会やJR九州との連携・協力
- ・駅前広場の整備着手(6年度)
- ・7年3月開業予定



■甲突川リバーサイドの利活用

№ 34

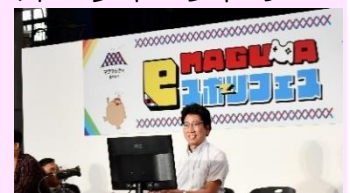
- ・甲突川リバーサイドフェスの開始(5年9月~)
- ・甲突川千本桜再生プロジェクト
5年度：実態調査
6年度：事業検討



■eスポーツの振興

№ 35

- ・eスポーツの振興や認知度向上を目的としたeスポーツイベントの開催(5年7月)



こんなことにも取り組みました

【No.31】路面電車観光路線の検討(県市連絡会で県と意見交換等)

【No.33】桜島と錦江湾を生かした新たなクルーズの調査・研究

4 ICTを活用しもっと住みよい鹿児島をつくる。

№36 ICT関連産業振興に取り組みます。

№37 新たな技術を、政策に積極的に取り入れます。(DXの推進)

■未来のICT人材の育成

№ 36

- ・プログラミング体験セミナーの開催
(高校生向け) 5~6年度: 各2回(予定含む)
(大学生・専門学校生向け)
5~6年度: 各2回(予定含む)
- ・ICT人材による大学等への出前講座
5~6年度: 各3回(予定含む)



■デジタル活用人材の育成

- ・デジタルを活用して地域の社会課題等の解決を図ることができる人材を育成するため、若年層を対象とした実践型の講座等を開催(6年8月~)

■DX推進のための組織体制の強化

№ 37

- ・「DX推進部」の設置(5年4月~)
- ・CIO補佐官の登用(3年10月~)
- ・産学官金協働の「かごしまデジタルスマートシティ推進協議会」を発足(6年1月~)

■ICTで住みよいまち推進基盤の構築

- ・マイナンバーカードを活用した各種サービスを利用できるようにするための基盤の構築(6年3月~)

■行政手続等におけるキャッシュレス決済の導入(3年度~)

- ・証明書発行等手数料(3年7月)
- ・観光施設等利用料(4年10月)
- ・科学館他5施設の利用料(5年12月)



■行政サービス等へのICTの導入

- ・粗大ごみ受付システムにおけるweb受付や電子決済サービスの導入(6年度)
- ・運賃クレジットカードタッチ決済の導入
4年度: 市電全車両へ導入 5年度: 市バス全車両への導入
- ・市電・市バスで利用できるモバイル定期券の導入(6年度)
- ・アプリを活用した新たな「かごりん」の導入(5年4月~)
- ・障害者手帳アプリ「ミライロID」を利用した市公共施設等における本人確認の運用開始(4年10月~)
- ・マリーサポートかごしまにおけるAIマッチングシステムの導入(6年度)
- ・電子書籍の検索・貸出等が可能な電子図書館サービスを開始(4年2月~)
- ・オンラインで利用者登録ができる、新たな講座申込システムの導入(6年度)

次ページに続く

■ ICTを活用した情報発信の充実

- ・ 広報紙「かごしま市民のひろば」のWEB版の配信(6年度)
- ・ LINEを活用した、市民のニーズに合わせた市政情報の配信や、市民に役立つタイムリーな情報の提供
- ・ 母子健康手帳アプリ「まぐまっこアプリ」の導入(3年度～)



■市民のICTリテラシー向上の支援

- ・ 地域公民館や地域福祉館などでスマートフォン操作講習会やアプリ開発講座の開催(4年度～)
- ・ 高齢者向けデジタル相談会の開催(6年度)

■職員のICTリテラシーの向上

- ・ 業務プロセス効率化(BPR)をテーマにしたDX人材の育成(5年度～)



■事務作業のICT化

- ・ 対話型の生成AIの導入(6年度)
- ・ BPRに向けた業務分析等の実施(6年度)
- ・ 職員が利用するモバイルパソコンの導入や一部無線LAN環境等の整備(5年度～)
- ・ 税務調査において、金融機関に対して行う預貯金照会業務の電子化(5年度～)
- ・ 農道等の情報を現場で確認できるタブレット端末の導入(6年度)

■タブレット端末等を活用したオンライン保健指導の実施(4年度～)

■バス運行データ分析ツールの導入による効率的な路線・ダイヤの見直し(6年度)

■市立病院におけるロボティック・プロセス・オートメーション(RPA)の導入等によるスマートホスピタルの推進(5年度～)

■市LINE公式アカウントから市道の不具合等を通報できるシステムの導入(6年3月～)

■映像の共有による迅速・的確な災害対応や応急手当

- ・ 119番映像通報システムの運用開始(5年10月～)
- ・ 災害現場の映像をドクターカーや通信指令センター等に中継する現場中継システムの運用開始(5年10月～)



■ 「行かなくてもいい市役所」づくり（窓口手続のオンライン化）

- 各種手続きのオンライン申請からキャッシュレス決済までの一連の流れを完結させる仕組みの導入(4年10月～)
- マイナポータルでオンライン申請できる手続きを開始(5年2月～)、対象手続きの拡充(5年4月～)
- オンラインで手続きに必要なものや窓口を案内するサービスの導入(6年1月～)
- 口座振替Web等受付サービスの導入(6年1月～)
スマートフォン等で口座振替の申込み手続きを完了できるWeb口座振替受付サービスや、市窓口で簡単に口座振替の申込み手続きができるペイジー口座振替受付サービスの導入
- 公共施設予約システムの整備
予約から利用料の支払いまでをオンライン完結するシステムの導入(5年4月～)
対象施設 5年度～：132施設 6年度～：138施設、
7年度～（予定）：140施設
- コンビニ交付による証明発行の促進
コンビニ発行における証明交付手数料を1件あたり100円減額(4年12月～)
コンビニ交付の利用体験ができるキオスク端末を本庁及び谷山支所に設置し、操作支援員を配置(5年2月～)
- 指定介護保険事業者の申請・届出等のオンライン申請の開始(6年9月～)



■ 「書かない窓口」の導入(6年3月)

- 住民異動届等の申請書の記入に係る負担軽減
- BPR及びRPA化による業務効率化
- 繁忙期における市民の待ち時間の減少
最大 約4時間 → 約2時間
平均 58分 → 23分



■ 電子契約サービスの導入(6年度予定)

■ テレワークを行う企業の積極的な誘致

- 新たにテレワークに要する経費を補助対象に拡充(4年度～)

Ⅲ 全ての人に、希望とチャンス。 安心して生活できる鹿児島をつくる。

5

安心して子育て環境をつくる。

No40 待機児童ゼロを実現します。

No 40

待機児童ゼロ達成！

◇保育所等の待機児童解消に向けた取組
＜2年度：216人→6年度：0人＞

- 待機児童対策を推進するため「待機児童緊急対策室」の設置(4年度～)
- SMSを活用した保育所等の空き情報の提供(5年度～)
- 保育所等への支援の充実
 - ・利用定員の拡大促進のため、保育所等の改修等へ補助(5年度～) 5年度：7施設
 - ・3歳未満児の受入れを拡大する保育所等への人件費等補助(4年度～)
4年度：14施設 5年度：28施設
 - ・認可外保育施設保育料補助の限度額引き上げ(4年度～)
 - ・保育所等に勤務する保育士資格を有していない者の資格取得支援(3年度～)
- 利用定員の拡大 ＜2年度：13,400人 → 6年度：13,821人＞
 - ・賃貸物件を活用した保育所等や小規模事業所を
設置する際の改修費等への補助(5年度～) 5年度：8施設
 - ・市立中山保育園の改修(5年度)
- 保育士や保護者の負担軽減
 - ・使用済み紙おむつの処理経費への助成等(5年度～)
 - ・官民連携による紙おむつの定額利用サービスの試行(5年度) 5年度：89施設
- ICTの活用による保育士等や保護者の負担軽減
 - ・ICT化に必要なシステムの導入費用の補助(5年度～) 5年度：19施設
 - ・市立保育所における保護者との連絡・園児の登降園管理等のシステム運用(5年度～)



◇児童クラブの待機児童解消に向けた取組

- 児童クラブの整備等
 - 市設置児童クラブ数 3年度：175 ⇒ 6年度：180
 - 民間設置児童クラブ数 3年度：27 ⇒ 6年度：38
- 児童クラブで働く職員の処遇改善(3年度～)
 - ・市設置児童クラブ：職員の報酬単価を3%程度引き上げ
 - ・民間設置児童クラブ：職員の報酬を3%程度引き上げた民間事業者への補助
- ICTの活用による保護者の利便性の向上や職員の業務負担軽減
 - ・児童等の入退室管理や保護者への連絡等ができるシステムの導入(6年度)



No41 保育士の確保策を講じます。

No42 地域子育て支援センターの充実強化

No43 病児保育体制の整備

No44 児童相談所の早期整備と機能充実

No45 こども医療費の負担軽減

■保育士等の処遇改善(5年度～)

- ・常勤保育士等に月2万円、非常勤保育士等に月1万円を施設を通じて支給
5年度：150施設 延べ27,194人

■保育所等に就職した保育士等の奨学金返済に対する補助(4年度～)

4年度：61件 5年度：391件

■潜在保育士の復帰支援

- ・潜在保育士、県外保育士等への就職奨励金の給付(4年度～)
4年度：20件 5年度：142件
- ・潜在保育士を有資格保育補助者として雇用し、保育士等として段階的な復帰に取り組む保育所等への助成(6年度)



No 41

■地域子育て支援センターの充実

- ・地域子育て支援センター設置地域数
2年度：8地域 → 6年度：11地域



No 42

■病児・病後児保育受付予約システムの導入

- ・病児・病後児保育施設の空き状況をオンライン上で確認できる受付予約システム「あずかるこちゃん」の導入(運用開始：4年10月～)



No 43

■児童相談所の設置に向けた取組

- ・児童虐待防止に向けた総合的な取り組みを進めるため「こども家庭支援センター」の設置(4年度～)
- ・児童相談所の設置に向けた施設整備や運営体制の検討等を行う「児童相談所準備室」の設置(6年度)
- ・県農業試験場跡地を整備予定地として取得(6年度)



No 44

■こども医療費制度の充実に向けた取組

【自己負担の軽減】

- ・対象者全ての保険診療による自己負担ゼロの導入
市町村民税非課税世帯 2年度：中学生まで → 3年度～：18歳まで
課税世帯 6年度：3歳未満まで → 7年度～(予定)：中学生まで

【利便性の向上】

- ・対象者全ての医療機関窓口での保険診療による一部負担金の支払いをなくす制度(現物給付方式)の導入
市町村民税非課税世帯 2年度：未就学児まで → 3年度～：18歳まで
課税世帯 6年度：未実施 → 7年度～(予定)：中学生まで

No 45

№46 子どもを産み・育てる親に寄り添う取り組みを進めます。

№47 「貧困の連鎖」を防ぐために取り組みます。

№48 発達障害の療育支援を行います

№49 スクールロイヤールの導入を図ります。

№50 通学路の安全確保

№ 46

■子育て情報A | チャットボットの導入(6年1月～)

■不妊治療費の一部を助成(5年度～)

■伴走型相談支援と経済的支援の一体的実施(4年度～)

■子育て世帯訪問による家事・育児の支援(5年度～)

■産後ケア事業の充実

- ・対象の拡充(3か月以内→1年未満)(3年度～)
- ・利用者負担の減免支援の導入(5年度～)



■保護者に対する相談体制の充実

- ・子育ての悩みや不安を抱える保護者等に対する、親子関係プログラムを活用した支援(6年度)
- ・関係機関と連携し、子育てに係る相談サロンとフードパントリー(食材配布)を同時開催(6年度)

■子育て世帯に対する住替支援等

- ・本市に住み続けたい子育て世帯の住替費用の助成や地域の生活情報等を提供(6年度)

■こども応援ネットワークの推進

- ・子どもの未来応援プランの策定・推進(3年3月～)
- ・こどもの居場所づくりにつながる活動を市ホームページで紹介し、活動を行う団体間の協調した取組を促進(5年度～)

№ 47



■子どもの学習支援

- ・家庭での学習が困難な小学4～6年生及び中学生を対象とした学習会の実施
- ・子ども食堂を支援する団体が行う学習支援の取組に対する助成(6年度)

■障害児通所支援等の提供

- ・延べ利用者数：92,934人(4年度)、104,087人(5年度)

■障害児等に係るサービス支給申請の受付や相談対応等を行うための障害児等支援相談員(1人)の設置(6年度)

№ 48

■スクールロイヤールの導入

№ 49

- ・いじめ等の諸問題に対して適切な対応を図るため、法的観点から学校へ助言を行うスクールロイヤールの導入(4年度～)

■通学路の安全確保

№ 50

- ・交通安全を確保するため歩道やゾーン30の整備
- ・地域のボランティアを活用した登下校の安全指導

6 稼げる力。「たくましい鹿児島の子」をつくる。

No51 キャリア教育の充実を図ります。

No52 IT関連教育を推進します。

No53 教育に、IT・インターネットを積極的に活用します。

■未来探究プログラムの推進

- ・中学生が地元企業と連携・協働し、社会課題の解決に取り組む学習を実施(5年度～)
5年度：4校 6年度：3校



No 51

■沖縄科学技術大学院大学への高校生派遣

- ・科学技術分野への進学及び研究を志す生徒を育成するため、OIST（沖縄科学技術大学院大学）の訪問プログラムへの高校生の派遣(6年度)



■ワールドステップeラーニング

- ・市立3高校におけるスタンフォード大学専任講師によるオンライン講座(5年度～)



■次世代を切り拓く青少年の育成

- ・「かごしま創志塾」「ジュニア創志塾」において、異年齢による交流活動や多彩な講師による講話、宿泊体験等を実施

■市立小・中・高校におけるICT環境の整備

- ・全児童・生徒1人1台のタブレット端末の整備(3・4年度)
- ・小・中学校にAIデジタルドリルを導入(4年度～)
- ・電子黒板の整備(6年度)

■児童クラブにおけるインターネット環境の整備強化

- ・市設置児童クラブへのWi-Fiルータ増設(6年6月)
- ・民間児童クラブへの光回線使用料補助(6年度)

■フレンドステップ・メタバースの導入

- ・学校やフレンドシップ、民間施設等に通えず自宅で過ごす児童生徒の自立を支援するため、メタバース（仮想空間）を活用した相談活動や学習支援等の実施(6年度)



No 53

こんなことにも取り組みました

【No.52】児童生徒の情報活用能力育成や教員の指導力向上のためのICT支援員の市立学校への派遣

№54 青少年の海外派遣、留学支援を広く行います。

№55 「外国人の友達を作ろう！」

№56 市立高校の振興と環境整備を図ります。

№ 54

■高校生の海外留学への助成

5年度：4件 6年度：4件(8月末現在)

■青少年の姉妹友好都市等との交流

- ・青少年の姉妹友好都市等とのオンライン交流

4年度：パース市、マイアミ市、長沙市、ストラスブール市、ナポリ市

- ・青少年の姉妹友好都市等への派遣

5年度：パース市、マイアミ市、長沙市、ストラスブール市、ナポリ市、マレーシア

6年度予定：パース市、マイアミ市、長沙市、ストラスブール市、ナポリ市、
カンボジア

- ・学生の自己負担分の経費の助成(5年度～)



№ 55

■かごしまアジア青少年芸術祭の開催

5年度：11月25、26日

参加国数 7か国、参加者数 約16,300人

6年度：10月19、20日(予定)

■国際交流センターにおける外国人住民との交流

イベント等の実施



№ 56

■母校応援ふるさと寄附金

- ・市立3高校を対象とした寄附募集(3年度～)
- ・新たに企業版ふるさと納税を活用した寄附の拡充(6年度)
- ・寄附金を活用した鹿児島商業高等学校の教育環境の向上・部活動への支援(5年度)
- ・寄附金を活用した鹿児島玉龍高等学校・鹿児島女子高等学校の教育環境の向上・魅力を発信するための動画制作に係る支援(6年度)

■市立高等学校の活性化

- ・学識経験者等を委員とする委員会における特色を生かした学校づくり等に関する協議(4年度～)
- ・鹿児島商業高等学校の学科再編及び男女共学化(6年度)
- ・鹿児島女子高等学校の学科再編(7年度予定)



7 人生100年時代。「持続可能な」生きがいにあふれる福祉。

No57 疾病予防・介護予防の促進

No58 健康診断受診率を向上させます。

No59 認知症を早期発見・早期治療できる仕組みを整備します。

■高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

- ・医療・介護・健診データ分析による高齢者への個別的支援の実施(3年度～)

■ICTを活用した疾病予防・介護予防

- ・ICTを活用した保健指導の周知及び実施(3年度～)
- ・電子教材媒体（保健指導アプリ）の導入(4年度～)
- ・特定保健指導の申し込みへの電子申請の開始(5年7月～)
- ・効果的な介護予防活動の推進を図るため、タブレット端末の導入(6年度)



No 57

■特定健診の受診率向上に向けた取組

- ・40・45・50・55・60歳に達する特定健診受診者へ本市公衆浴場入浴券2回分の交付(4年度～)、交付対象者の拡大(6年度)
- ・薬局と連携した特定健診の受診勧奨体制の構築(5年度～)
- ・公式LINEアカウント等を活用した健診受診の普及啓発(4年度～)、SMSを活用した受診勧奨の導入(6年度)

■がん検診の受診率向上に向けた取組

- ・パソコンやスマホからがん検診の予約ができるシステムの導入、胃がん検診への特定年齢を対象とした内視鏡検査の導入(5年度～)
- ・乳がん検診への30代偶数年齢を対象とした超音波検査の導入(6年度～)

No 58

■チームオレンジ設置・運営への支援

- ・認知症の方とその家族が、サポーターとともに地域での交流や見守り支援等を行う「チームオレンジ」の認定と運営支援 6年度：4チーム(8月末現在)

■「かごしま市認知症おうえんナビ」の運用開始(6年度)

- ・認知症に関するクイズなどを通じて、適切な相談先や必要な支援制度の申請などに対応する特設ページの運用を開始

■認知症あんしんサポート(3年度～)

- ・認知症やその疑いにより行方不明となった高齢者等の早期発見のため、本市LINE公式アカウントを活用した情報配信

No 59



№60 重度心身障害者等医療費制度の手続を簡素化します。

№61 障害者就労施設等への発注

№62 手話言語条例の制定

№63 バリアフリー化の推進

№64 高齢者の生きがい就労

■重度心身障害者等医療費制度の見直し

№ 60

- 自動償還払い方式への変更に向けたシステム改修の実施(5年度)
- 自動償還払い方式への変更(6年7月診療分～)

■手話言語・障害者コミュニケーション条例の制定

№ 62

- 条例の制定(6年3月)
- 条例周知用パンフレットの作成、
条例制定記念イベントの開催(6年8月)



■バリアフリー化の推進

№ 63

• 小・中学校

- 3年度：2棟完了、1棟着工
- 4年度：3棟完了、2棟着工
- 5年度：1棟着工
- 6年度：9棟完了（予定）、2棟着工（予定）



• 市営住宅

- 3年度：2棟完了、1棟着工 4年度：1棟完了、2棟着工
- 5年度：2棟完了、1棟着工 6年度：1棟完了（予定）



• 市道

- 3年度：7線の段差解消 4年度：5線の段差解消
- 5年度：3線の休憩施設（ベンチ）設置 6年度：9線の休憩施設（ベンチ）設置

こんなことにも取り組みました

【No.61】障害者就労施設等からの物品等調達の推進

調達実績 3年度：37,364千円 → 5年度：48,546千円

【No.64】シルバー人材センターの運営に対する助成

IV 人口減少時代に生き残る鹿児島をつくる。

8 「持続可能」なまちづくり。「持続可能」なくみづくり。

№65 「持続可能性」を重視しSDGsの取り組みを進めます。

№66 環境と調和した再生可能エネルギーの開発・活用を進めます。

№67 避難所等における再生可能エネルギーの活用

№68 リサイクルの促進

■SDGsの推進に向けた普及・啓発の取組

- ・かごしまSDGs推進パートナーの募集・登録
246社登録(2年10月～6年8月末現在)
- ・かごしまSDGsパートナーシップ推進会議(3年度～)、
SDGs若者会議(5年度)及びMY SDGs宣言キャンペーン(5年度)
- ・かごしまSDGs推進パートナーロゴマークの作成(6年度)

■第六次総合計画において、SDGsと本市施策等との関連を整理

№ 65



■再生可能エネルギー活用計画の策定(4年3月)

■市有施設への太陽光発電システム導入可能性調査(5年度)

■GXに向けた脱炭素モデルの調査

- ・官民一体となって取り組むGX（グリーントランスフォーメーション）を推進する脱炭素モデル調査事業の実施(6年度)

■避難所への太陽光発電システムや蓄電池の導入

4～6年度：宇宿福祉館、西伊敷福祉館

■新南部清掃工場の供用開始(4年1月～)

- ・バイオガス施設と高効率発電施設を運営



№ 66・67

家庭ごみマイナス100グラム達成！

<H27年度：570g
→ 5年度：461g>

№ 68

■3Rの推進

- ・第四次一般廃棄物処理基本計画の策定(4年3月)
- ・プラスチック製品の資源化の試験的な実施(5年度～)
- ・羽毛布団の資源化(4年度～)
4年度：2,600枚、5年度：3,256枚、6年度：1,252枚(8月末現在)
- ・小型充電式電池等の分別収集を追加(7年1月予定)

■食品ロスの削減

- ・食品ロス削減推進計画の策定(6年3月)
- ・食品ロス削減マッチングサービスの導入(6年度)
- ・食品ロス削減推進委員会の設置、食品ロス削減モニターの募集(6年度)



■第二次鹿児島市公共交通ビジョン及び第三次交通バリアフリー基本構想の策定(4年3月)

■公共交通不便地における持続可能な交通手段の調査検討

- ・ A I オンデマンド交通の実証実験(5・6年度)
- ・ あいばすの利用状況及び地域住民の意向調査(6年度)

■EVバスの導入 2両(5年度)

■天文館バス停デジタルサイネージ設置への支援(5年度)

■地域公共交通ネットワークの再構築検討

- ・ 官民が連携して取り組む利便増進実施計画の策定に向けた移動実態等の基礎調査(6年度)

■相乗りタクシー実証実験

- ・ 配車アプリを活用した相乗りタクシー(シェア乗り)の実証実験(6年度予定)

■鹿児島駅周辺の整備

- ・ JR・市電・路線バスの円滑な乗り継ぎが可能な鹿児島駅前広場の完成(4年3月)
- ・ バリアフリーに対応した鹿児島駅前停留所の完成(3年3月)



■鹿児島県鉄道整備促進協議会等における在来線の利用促進策の検討・実施

■市空き家バンクの運用開始(5年8月～)

- ・ 成立件数 1件(6年8月末現在)

■桜島地域における空き家マッチング(3年度～)

- ・ マッチング件数 6件(6年8月末現在)

■高齢者等の住宅確保サポート

- ・ 賃貸住宅等の入居に不安を抱える高齢者等が安心して住まいを確保できる環境を整備するため、居住支援協議会の設置(7年3月予定)



■さくらじま地域おこし協力隊の活動支援

■つながる“喜び入るまち”活性化の推進(4年度～)

- ・ 鹿児島ユナイテッドFCとの協働による取組
- ・ 鹿児島ユナイテッドFCホームゲームでの地域PR

■河頭浄水場の甲系統の浄水施設の更新に向けた取組

- ・ 用地購入(4年度)
- ・ PPP/PFI導入可能性調査等(5年度)
- ・ 民間活力導入支援業務(5～7年度)

■道路照明灯のLED化

- ・ 道路照明灯の全数調査とデータベース構築(5年度)
- ・ 計画策定(6年度予定)

9 現在そして将来の課題に今から対応できる鹿児島県をつくる。

№74 動物殺処分ゼロを目指します。

№75 同性パートナーシップ

№76 合併地域の均衡ある発展に向けた取り組み

№77 様々な状況に合わせた、避難所の質の確保

№78 学校のトイレ洋式化

■犬猫等の飼養者啓発

- ・自然死を除く殺処分数 犬・猫：0頭(3～6年8月末現在)
- ・(公財) どうぶつ基金を活用した野良猫の不妊去勢手術の実施(4年度～)



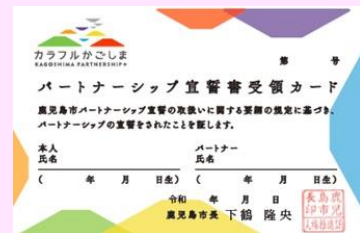
№ 74

■動物愛護サポート

- ・ミルクボランティアへ幼齢猫を譲渡(3～4年度)
- ・動物愛護サポーター登録制度の導入(5年度～)

■パートナーシップ宣誓制度の運用

- ・パートナーシップ宣誓制度の導入(4年1月～)
- 制度利用者：22組(6年8月末現在)



№ 75

■地域の魅力・活力の共創

- ・地域と共に創るまちづくりプランの策定(5年3月)
- ・プランに基づく事業の実施(5年度～)



№ 76

■災害時における食糧等物資の備蓄

- ・災害時食糧等物資の備蓄
- 4年度～：特定原材料28品目不使用のアレルギー対応米粉クッキー
5年度～：液体ミルク、アレルギー対応ミルク、特定原材料28品目不使用のアレルギー対応保存用パン
6年度：災害時資機材等物資としての段ボールベッド
停電時の医療用機器にも対応した蓄電池



№ 77

■避難所体制の整備

- ・鹿児島県助産師会と「災害時における福祉避難所等の人的支援に関する協力協定」締結(4年度)
- ・市内7校の特別支援学校と「災害時における福祉子ども避難所の設置及び管理運営に関する協力協定」締結(6年度)

■市立学校のトイレの洋式化

- ・洋式化率：58.2%(3年度末) ⇒ 73.2%(6年度末予定)

№ 78

■かごしま団地みらい創造プランの策定・推進

No 81

- ・かごしま団地みらい創造プランの策定(3年3月)
- ・団地活性化の取組を担う人材の発掘・育成を図るためのセミナー開催(4年度～)

■空き店舗の活用

- ・中心市街地や団地核の空き店舗を活用した新規開業への助成

■市営住宅建替手法の検討

- ・民間資金等を活用した建替手法と余剰地の利活用を総合的に検討(6年度)

■公文書管理条例の制定

No 83

- ・公文書の適正な管理を図るため、公文書管理条例を制定(4年4月施行)

■男女共同参画の推進

No 84

- ・第3次鹿児島市男女共同参画計画の策定(4年3月)
- ・市職員の女性の管理職登用
2年度：16.5% → 6年度：22.1%



■女性活躍の推進

- ・女性活躍に係る各種セミナーの開催やプログラムの実施
- ・女性活躍アドバイザーを配置し、市長等との意見交換や企業等への講師として派遣

■8・6豪雨災害30年関連事業

No 85

- ・教訓の継承及び防災意識の高揚を目的としたシンポジウムの開催等(5年度)

■防災会議の運営

- ・各分野の専門家を委員に委嘱(3年6月～)

■桜島火山防災研究所（仮称）の設置準備

- ・火山専門家を登用し、大規模噴火時の市民の避難に係る研究等を行う桜島火山防災研究所（仮称）の設置に向けた準備(6年度)



■多文化共生社会の構築に向けた取組

No 87

- ・国際交流センターに外国人相談デスクを設置(4年7月～)
- ・多文化共生推進指針の策定(5年3月)
- ・生活情報ポータルアプリ「KagoTips」の開発・運用(4年度～)

こんなことにも取り組みました

【No.79】 県が整備予定のスポーツ・コンベンションセンターについて、県市連絡会を通じた情報共有・意見交換

【No.80】 紫原団地、桜ヶ丘団地の地籍調査

【No.82】 防災リーフレットの全戸配布やハザードマップ等の更新

【No.86】 田上小学校周辺における土地区画整理事業に係る調査・検討

【No.88】 模擬投票演説動画の作成、高等学校等での出前授業の実施、市立3高校での期日前投票実施

10 新しい時代。民間のチカラを活かし、“これから”の鹿児島市政をつくる。

No89 データに基づく政策立案（EBPM）を推進します

No90 事業の見直しを進めます

No91 政策評価を充実させます。

No92 公契約の適正化を進めます。

No93 民間との公平な競争環境

No94 ふるさと納税を集める取り組みを進めます。

No95 ネーミングライツ等の積極的活用

No96 市政の情報公開を進めます。

No97 市民の声を聞く機会を増やします。

No98 鹿児島市内全域で、市政報告会を開催します。

No99 官民連携プラットフォーム

No100 民間人材の積極的登用

■EBPMの推進

No 89

- ・大学院等への職員派遣（市町村アカデミーや政策研究大学院大学等）（3年度～）
- ・各種データのカatalog化・庁内共有（4年度～）

■「ふるさと納税推進室」の設置（5年4月～）

■ふるさと納税の推進

No 94

- ・マーケティングプロデューサーの配置（5年10月～）
- ・魅力的な返礼品の充実
5年4月：約740品 ⇒ 6年8月：約1,000品
- ・民間ポータルサイトの追加
5年4月：4サイト ⇒ 6年8月：18サイト
- ・寄附受入実績 <個人版>3年度：約5.5億円 → 5年度：約13.5億円
<企業版>3年度：約0.3億円 → 5年度：約2.4億円



■「市長と語る会」をおおむね中学校区ごとに開催

No 98

開催回数 3年度：7回 4年度：10回 5年度：9回 6年度：6回（予定）

■民間から提案を募る「官民連携プラットフォーム」の構築・運用（4年10月～）

No 99

- ・運用状況（6年8月末現在）
提案件数：38件（うち、実施又は実施予定12件）
- ・コーディネート業務（マッチング支援等）を開始（6年5月～）



■民間人材の積極的登用

No 100

- ・CIO補佐官（3年度～）、DX推進サポーター、地域活性化アドバイザー（4年度～）、マーケティングプロデューサー（5年度～）、火山防災専門官（6年度）など、民間企業での職務経験者を登用

こんなことにも取り組みました

【No.90・91】EBPMを活用した行政評価

【No.92】最低制限価格の見直し等による公契約の適正化

【No.93】指定管理者制度における公募しない理由（特定指定とする理由）の市ホームページでの公開

【No.95】電停に副呼称を付けることができる電停ネーミングライツの導入

【No.96】かごしまiマップにおける準用河川の位置情報及び市道の道路幅員に関する情報の公開

【No.97】まちかどコメンテーターの人数等の拡充